

第22回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和元年9月18日(水) 午前10時00分～
- 開催場所 遠軽町役場2階応接室
- 記者数 4人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

■オリンピックゆかりの展示林について

かねてより、遠軽町が北海道家庭学校のオリンピックゆかりの展示林材を供給して参りました日本オリンピックミュージアムが、9月14日東京都新宿区にグランドオープンしました。

オープンに先駆けて、12日にオープニングセレモニーが開催され、日本オリンピック委員会(JOC)より、ご案内をいただき、私が出席してまいりました。

セレモニーには、萩生田光一文部科学大臣をはじめ、橋本聖子五輪担当大臣、森喜朗東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長など、国内外から来賓者が出席しました。

冒頭、山下泰裕(JOC)会長の挨拶に始まり、列席者のテープカットが行われ、また、ミュージアムの説明の場面では、「遠軽町の展示林材が、施設に活用されているとの紹介もなされ」、町のPRにもなったところであります。

さらに遡りますが、9月2日にはミュージアムのメディア向け内覧会が行われ、本年3月、遠軽町福祉センターにおいて開催されたオブジェ製作に参加した小学生2名も、JOCの招待により出席いたしております。

なお、オリンピック関連の取り組みとしましては、明日19日に選手村ビレッジプラザへ遠軽町のトドマツの加工材を搬出する予定となっております。

次に、前回の記者会見でお話させていただきましたが、本年6月16日から17日の二日間、ポール・カヴァナ駐日アイルランド大使が本町を訪れ、家庭学校にある「オリンピック展示林」などを視察されました。

展示林はアイルランドの森とよく似ており、大きく育っていることを大変うれしく思われ、これを育ててきた家庭学校の子もたちの努力にとっても感動されておりました。

「オリンピック展示林」を「みどりと国際交流のレガシー」として次世代に継承しようとする本町の取組について、大使からは、「世界の環境に配慮し、森の木々を大切に育てるという日本人の考え方があることに深く感銘を受けた」とおっしゃっていただき、アイルランドとの今後の交流に弾みがついたところです。

このようなことから、このたび、大使の来町時にお話がありましたラグビーワールドカップ2019日本大会の今月28日に静岡県で開催されますアイルランド対日本戦の試合に大使から招待を受けましたので、お知らせします。

当日は、歓迎レセプションをはじめ、駐日アイルランド大使とともに世界ランキング現在1位のアイルランドと日本との試合を観戦する機会をいただきましたことは、大変うれしく光栄に存じているところです。

さらに、大使のご紹介により本国アイルランドのマスメディアであります、「アイリッシュ・タイムズ」社(新聞社)のスポーツ編集記者が10月8日から10日までの日程で来町し、「オリンピック展示林」をはじめ、遠軽町内を取材していただくことが決まりましたので、お知らせします。

来町する記者の方のお名前は「イアン・オリオーダン」氏で、実はお父様が前回の東京オリンピックの陸上5千メートルの 아일랜드代表選手で来日しているオリンピック人であります。お父様のお名前は、「トム・オリオーダン」氏で、現在ご高齢ながらアイルランドでご健在であると同っております。

今後におきましては、「ホストタウン」登録を目指し、アイルランドとの交流をさらに深めるとともに、今回のラグビーワールドカップへの招待や本国アイルランドからの取材を通して、このオリンピック展示林の縁を契機に、遠軽町の名がアイルランドをはじめ世界中にアピールできる好機となればと期待しているところです。

■遠軽IC「道の駅 遠軽 森のオホーツク」について

開業に向けて準備を進めている「道の駅遠軽森のオホーツク」については、本年6月19日付けで、国土交通省により道の駅として登録され、現在、1階は道の駅機能、2階はロッジ機能を有する施設を建設しているところです。

オホーツク地域の玄関口として地域の様々な情報を発信するほか、スキー場にも隣接する立地を生かしたアクティビティの提供も行い、地域の賑わいを創出したいと考えています。

スキー場ロッジ部分については、スキーシーズンの到来に向け、12月にオープンできるよう、また、道の駅部分については、遠軽ICの開通に合わせ、できる限り早期にオープンできるよう、施設等の工事を進めているところです。

オープンの時期につきましては、詳細が決まりましたら改めてお知らせします。

■遠軽町地域公共交通マップの作成について

本年度において、遠軽町地域公共交通マップ（仮称）を作成し、全戸に配布いたします。

JR石北本線や生活交通路線バスについては、利用者の減少により、持続可能性が問われる状況にあります。

少しでも多く、これらの公共交通を利用してもらえるよう、路線や時刻、乗り方などの情報をわかりやすく掲載し、町民の皆様に理解を深めてもらいたいと考えております。

このマップの作成については、一般社団法人 地域循環共生社会連携協会から助成を受けて実施する地球温暖化に資するライフスタイルなどの普及啓発事業の一環となっております。

遠軽町においては、温室効果ガスの排出削減に向けた賢い選択という意味の国民運動「COOL CHOICE」に賛同し、公共交通の利用促進やエコドライブの普及に努めてまいります。

■遠軽町総合防災訓練について

10月6日（日）、旧遠軽小学校において「遠軽町総合防災訓練」を行います。

この訓練は、近年の気象状況の変化による大規模災害の発生をふまえ、災害発生時における円滑な防災活動を実施するため、防災関係機関16団体の参加を得て、各機関が連携して災害対応訓練を行なうとともに、併せて自治会の避難訓練を通じ、自助・共助による地域のつながりの確認、住民の防災意識の高揚と災害に強いまちづくりを目的として隔年で行なっているものであります。

今年度につきましては、防災機関連携訓練として、避難訓練、ライフライン復旧訓練、救出救助訓練、水防訓練、給食訓練などのほか、防災啓発・展示として、防災講和、防災関係車両展示、災害対応型自動販売機展示などを行ないます。

また、午前9時頃、避難訓練開始に伴う「訓練 警戒レベル4 避難勧告」をエリアメール、サイレンの吹鳴、広報車の巡回により伝達します。

■町道東2線道路の踏切拡幅工事に伴う交通制限の実施について

町道東2線道路につきましては、平成25年度より、「国道242号」から「道道遠軽安国線」までの区間で、防雪柵及び歩道の設置・路肩の拡幅工事を実施しているところであります。

今年度につきましては、JR北海道による「44号踏切」の踏切拡幅工事を実施することから、車両及び歩行者の通行止めを行います。

通行止めの期間としましては、踏切拡幅工事に係る期間として、9月24日から12月中旬までを予定しております。

状況により変更となる可能性もありますが、しばらくの間、ご不便をおかけすることをご了承くださいたいと思います。

■観光イベント等について

町では、8月25日（日）から10月6日（日）までの期間を「コスモスフェスタ期間」としており、太陽の丘えんがる公園虹のひろばでは、コスモスの見頃を迎えています。

園内のコスモスは、草取り作業などにご協力いただいた多くの町民の方々に支えられ、今年は、ここ数年で最良の見頃を迎えることができました。

なお、9月8日（日）には、昨年、地震や台風の影響により開催できなかった「太陽の丘コスモスフェスタ」を開催し、当日は約1万人の入場者に満開のコスモスを鑑賞していただきました。

「太陽の丘えんがる公園」への多くの皆様のお越しをお待ちしています。

次に、「えんがる愛食フェア」についてであります。

遠軽町、遠軽商工会議所、えんがる商工会などで構成する「オホーツクえんがる産業振興協議会」では、地元食材を使用した料理フェアとして、今年も10月から「えんがる愛食フェア」を開催します。

このフェアでは、町内21の参加店が、白滝じゃが や地元農産物を使用したオリジナル料理などを提供します。

フェア実施期間は、10月1日（火）から31日（木）までとなっています。

抽選で、「白滝じゃが10kg」又は「参加店共通お食事券（2千円分）」が当たるプレゼント企画もあります。

多くの皆様に、遠軽町の秋の味覚をご堪能いただきたいと考えております。

次に、昨年、北海道胆振東部地震により中止となりました国内最大の自転車ロードレースとなる「ツール・ド・北海道2019」が、9月6日から8日の3日間、道北・道東地域を舞台に開催されました。

当町におきましては、9月8日の日曜日に北見市をスタートした20チーム・100人の選手が金華峠を越え、4地域を通過し、北見峠を経て当麻町にゴールする第3ステージが行われました。

また、ちゃちゃワールドと丸瀬布総合支所からスタートする「市民レース」が併せて開催され、私もスターターを務めたところです。

この大会にあたりましては、遠軽サイクリング協会をはじめ、コースの整理員としてご協力をいただきました多くのボランティアの皆様に深く感謝を申し上げます。